

- 4 **特集** challenger
「さらに強く、さらに遠く」
- 6 敬老の日特集
- 16 地域おこし協力隊奮闘記
- 17 田村市の文化財「民俗芸能-獅子舞-」
- 18 海を越えて 英語指導助手ペンリレー
- 19 たむら支援学校だより
- 20 ほっとニュース
- 23 船高便り
- 24 ほけんだより
- 28 暮らしの情報案内板
- 38 各施設の催しなど

市の募集・申請に関する
各記事の共通事項

☎問い合わせ ☑申し込み先
市への申込・書類提出について明記していないものは、期間中の土・日・祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで



田村の夏は、
やっぱり祭だあ！



筑波大学1年
本田 凜
挑戦者 -番外編-



「背番号7」：高校時代の3年間「7番」として活躍した思い入れのある番号。U20日本代表でも背番号7。たまたまこの番号でしたが、何かの縁があると思わずにはいられません。



写真提供：AVC

Interview



Profile Rin Honda

- 生まれ / 2003年7月9日、滝根町
- 身長 / 177㌢
- ポジション / ミドルブロッカー (最高到達点：296㌢)
- バレー歴 / 滝根中学校卒→郡山女子大学附属高校卒→筑波大学1年→2022年6月、U20日本代表メンバー選出

ChALLENGER Vol.3で紹介した本田凜さんは、この夏、U20日本代表メンバーに選出され、7月4日から11日までカザフスタンで行われた「第21回アジアU20(ジュニア)女子選手権大会」に出場しました。チームは見事アジアで優勝。凜さんは、多くの試合でスターティングメンバーとして出場するなど、勝利に貢献しました。高校を卒業して約半年。早くも憧れの「日の丸」を背負う夢を現実にし、世界の舞台に挑戦、進化し続ける「凜ちゃん」が、今感じていることとは一。

世界の舞台で「進化」し続ける

U20日本代表に選ばれたと伝えられた時は、何かの間違いかと思いましたが(笑)。中学時から、候補選手として選考会に行くことはあっても、ほとんど選ばれることはなく、「今回もダメかな」と正直、自信はなかったですが、「やっぱり選ばれるたい」と強く思って選考会に挑んでいたため、本当にうれしかったです。

初めての外国人選手との対戦。パワーや高さ、勝手にこだわる姿勢など日本人相手とは違ったやりかたを体感し、代表としてコートに立っている以上、結果を出してチームに貢献しなければならぬというプレッシャーも感じていました。その時、自分になんができるか考えたら、高校時代に学んだ「ブロード攻撃」。試合を重ねるうちに外国人選手にも通用する手応えを感じて自信になり、自分にしかこのポジションをできないという爪痕を残せたいと思っています。

～郡山女子大学附属高校 恩師・後輩からの応援メッセージ～



バレーボール部 監督 佐藤 浩明



3年 背番号7 浅利 麻央 選手

U20日本代表に選出され、予想より少し早かったと感じましたが、凜はメンバーに入るべきだと思っていたので、ようやくここまで行けたと感じました。

次はまず大学の自チームでレギュラーをとり、個人賞を狙うこと。そうするとさらに上に行ける。謙虚さは彼女のいいところだが、もっと自信をもって取り組んでほしい。目標を見失わず、信じるものだけ信じて頑張ってもらいたい。

身近にいた存在が遠い存在になってしまった感じもありますが、プレーだけでなく、日常生活でもバレーボールのために緻密にやっている方なので、今でも尊敬する憧れの先輩です。

試合で元気に喜ぶ姿など技術面だけでなく、人間性がとても優れているところが魅力。凜さんらしいプレーをこれからもたくさん見たいし、頑張っている姿を見ると私たちも頑張ろうと思えます。ずっと応援しています。

コートに立つ夢を叶えることができたので、次はもう一度世界の舞台で戦って、「1番」を取りたい。そのために、世界大会(2023年9月)の選考会に向けて、「やっぱりこのポジションは凜にしかできない」と思ってもらえるように、進化した自分を見せられるように、大学で力を発揮して活躍できるように頑張ります。

郡山女子大附属高校時代に特集した「Challenger Vol.3」の内容はこちらからご覧になれます。▶▶▶

